

福島県知事 佐藤雄平様

2012年1月23日

2011年3月11日東日本を襲った大震災の残した傷跡はあまりにも大きかったことはずっと私たちの心に残ることでしょう。復興のための希望や思いやりもまた忘れられることがありませんように...

2011年3月の震災後、インターネットやテレビで日本の惨事を観た時、また私の日本人の妻が無力を感じていたのを観た時、私にできることは何かないかと考えました。ミュージシャンであると同時に中学の音楽教師でもある私は、世界共通の「音楽」を通して支援を必要としている人たちを元気づけようと考えました。日本からはとても遠い国スイスから、「みんなのことを忘れないよ。頑張っていて欲しい」ということを伝えることが目的です。

メディアを通して、東日本大震災の大惨事にショックを受けた生徒たちを見て、生徒たちと一緒に何かできないかという気持ちにもなりました。この歌を「日本語で歌った」ことも被災地で頑張る人たちにメッセージを伝えるために、一人でも多くの人に忘れていないよという気持ちを理解して欲しかったからです。日本語を全く知らない、話したこともない私の生徒たちは、「日本語で歌う」という私の考えに賛同してくれました。

日本人の作詞者、スイスのミュージシャン仲間たち、映像ディレクターの友人は皆ボランティアでこのプロジェクトに参加協力してくれ、Youtube 上でこの復興支援のためのメッセージソング「未来の友達」をリリースすることができました。2011年11月29日に Youtube でオンラインになってから約4万回のクリック数がありました。この数字は多くの方に観て頂けたことを証明しますが、私のゴールはこのメッセージソングを本当に必要としている人たち、被災地で今もなお大変な生活をしながらも頑張っている方たちに届けることです。この人たちにはまだ十分に届いていないのではないかと思います。

どうやってこのメッセージソングを必要とする被災地の方々にこの歌を届けることができるでしょうか。ご相談させて下さい。遠く離れたスイスからでは、震災復興への御尽力は計り知れません。このメッセージソングの映像・音楽データ、楽譜の配布なども無償でいたします。(宮城県庁に関しては、広報部に既にデータと楽譜配布済み。仮設住宅担当課、災害対策本部でこういった形で届けられるかを調整中とのこと。)

DVD データ、スイスインフォの記事を同封いたします。

このビデオは youtube または Google で「未来の友達」と検索して頂ければウェブ上でご覧に慣れます。

よろしくご検討の程、お願いいたします。



パスカル・ケーザー (Kaeser Pascal)

Kistlerstrasse 25

3065 Bolligen

Switzerland

pascalkaeser@yahoo.com

[www.p-bass.ch](http://www.p-bass.ch)